

C O N T E N T S

- 【1】 セミナーのご案内・トピックス
- 【2】 職場を考える(50) 【管理職の役割】
- 【3】 生き生き施設づくり(42) 【素人とプロ】
- 【4】 信頼のある職場(50) 【シニアの働き方】
- 【5】 少年硬式野球チームのコーチと目標管理(60) 【お手本と理想】
- 【6】 なつぞら

平素はお世話になりありがとうございます。
当センターで2カ月に1回のペースで発行するメールマガジンをお送りします。
すごいことが書いてあるわけでもなく、無事をお知らせする程度のメールマガジンです。

気楽にご笑覧いただき、今後ともご厚誼をいただければ幸いです。
中嶋 哲夫

【1】 セミナーのご案内・トピックス

【セミナーのご案内】

(1) 第43回(最終回) 目標管理推進者養成研修 日程

【対象】 人事・総務・経営企画担当スタッフ、現場管理者

【第1ステップ】

- ・日程 2019年10月3日(木) 11:00～4日(金) 17:00
- ・会場 株式会社エム・シー・アンド・ピー カンファレンスルーム
大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル12階

【第2ステップ】

- ・日程 2019年12月5日(木) 13:00～7日(土) 12:00
- ・会場 関西セミナーハウス 修学院きらら山荘
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23

<http://www.mbo-mcp.com/seminar/details/pdf/190417.pdf>

研修にあたって

目標管理推進者養成研修は、今回を最終回とさせていただきます。体力的にプログラムの進行がキツくなってきたのが、その理由です。

本研修は、ほぼ25年にわたり1000人近い方々にご参加いただきました。その方々が

、良い職場づくりに取り組んでくださっていることに感謝しております。しかし、良い職場づくりにはゴールはありません。働く職場をよくすることで、多くの方が幸福になれる。その願いを受け止めていただけるとありがたいと考えています。

なお、MBO実践支援センターとしては活動を継続します。受託研修、コンサルティング等については従来と変わりはありません。(中嶋)

【トピックス】

- (1) 「賃金事情」No. 2786 (2019. 6. 20発行) のコラム「人事も歩けば」に『三軒家公園』が掲載されます。
- (2) 「賃金事情」No. 2784 (2019. 5. 20発行) のコラム「人事も歩けば」に

【2】職場を考える(50)

【 管理職の役割 】

職場のリーダーと言われると、通常は管理職を思い浮かべます。また、そのイメージは、職場メンバーに指示を与え、職場を方向づける人、というのが一般的でしょう。

もう一步、深く考えると、管理職は難しい立場です。組織のなかで、上位の職場と下位者を結びつける複雑な役割を果たしています。第1には、経営者の意思を組織に浸透させる、下に向けた職制としての役割があります。第2には、職場の代表者として、現場情報や担当者の状況を経営者に伝える、上に向けた役割もあります。

2つの役割を、どうバランスさせるかは、管理者に任されています。バランスをうまくとらなければ、上と下との板挟みになったり、どちらかから嫌われます。そうになると、どちらの役割も果たせません。

少し例を見てみます。足尾銅山の第二次労働争議の指導者であった松葉鏗寿は、飯場頭でした。労働者を管理する立場の人間です。ただ、会社に正義を感じる事ができず、労働者に正義を見出したが故に、争議の指導者となります。同様の出来事は、江戸時代の庄屋にもみられます。庄屋は、村請制の管理者であり、村内自治の代表者です。同時に、藩の最末端の管理者でもあります。殿様が高札の掲示を求めれば、それを掲示する立場です。同時に、越訴や一揆においては代表者となります。失敗すれば打ち首覚悟の役割です。2重の役割を果たす第一線の管理者は、現場に密着しているだけに、どちらの立場にもなり得る存在です。

これらの例から分かるとおり、2つの役割のバランスは、管理者の生命線です。職場メンバーが働きやすい職場環境を整える(つまり、下から上への役割)は、職場が生産的であるための重要な要素です。成果主義人事で職場が荒れたと原因のひとつに、第一線管理者が経営側の立場に立ちすぎたことがあると、考えています。

中嶋

【3】生き生き施設づくり(42)

【 素人とプロ 】

梅雨の晴れ間の某日、来年春に新しく開所する施設の、建設中の工事現場に行ってきました。工事現場責任者の案内で、2人の施設長や事務長と一緒にヘルメットをかぶって、内装はおろかまだ壁や仕切りもないコンクリートと配管がむき出しの現場を1時間ほど見学してきました。

施設長はすごいなあ、と思いました。

私にはコンクリートの構造物にしか見えない現場を、2人の施設長は、「ここは車椅子をターンさせるにはすこし狭いから工夫がいきますね」とか「個室の広さはこれくらいが広くもなく狭くもなくちょうどいいかも…(狭いと入居者が窮屈に感じるし、広すぎると室内で転倒事故がおこりやすいそうです)」と、あたかもそこに入居者や職員が居て、どのような動作や暮らしをしているかを透視しているようです。

人事制度をつくるときに、現場における利活用シーンをありありと思う浮かべよ、と指導を受けたことを思い出しました。でき上ってから使い方を考えるのは素人。プロは使い方を考えてつくる。当たり前のことですが、あらためてすごいと感じました。

パートナー 三宅敬司

【4】信頼のある職場(50)

【 シニアの働き方 】

政府が企業に対して、70歳まで働く機会を確保することを努力義務とする方針を示し、来年の通常国会に高齢者雇用安定法の改正案を提出する方向で検討を進めています。

現場で70歳近い人が働いているのがふつうの场景となる日がいつ来るか、はっきりしたことはわかりませんが、今の50歳台はもろに影響を受けることになるでしょう。マラソンレースの終盤を走っていたつもりが、ゴールがもう10kmくらい先に延びていくような感じかもしれません。

いつまで働くかはもちろん個人の選択です。ただ、世界各国に先んじて人口減と高齢化が進行する我が国において、年長者の就業機会が増えることは社会全体としてポジティブにとらえていいことだと思います。要はこの変化をチャンスにできるかどうか。

リクルートワークス研究所によると、シニアがいきいきと活躍している働き方に共通する要素は「無理なく」と「役立つ」の2つだそうです。また後者の「役立つ」とは、その対象は「顧客のために」「社会のために」「仲間のために」「若い人のために」の4つで、そこに「会社のために」は入っていないそうです。※

真に自立した、会社人を超えた本物の社会人の姿をそこに感じます。

※「会社を強くする人材戦略」大久保幸夫 日経文庫より

パートナー・三宅敬司

【5】少年硬式野球チームのコーチと目標管理(60)

【 お手本と理想 】

4月の後半に入り、早いのですが夏の大会の地区予選が10連休の前半で始まり、メジャーチームは全国大会への出場権をかけて戦いました。春の大会で優勝した勢いで夏の大会も滑り出しは好調でしたが、準々決勝で優勝候補のチームと対戦し、惜敗。しかしながら、敗者復活戦で勝ち上がれば、再度決勝戦およびプレーオフ（敗者復活戦のチームが決勝で勝てば、再度決勝の相手と戦い、プレーオフ1試合を実施して勝てば全国大会出場決定）に進むことができるため、落ち込むことなく、敗者復活戦を勝ち上がり、決勝で再び準々決勝で敗れたチームとの対戦、我がチームは敗者復活戦からの勝ち上がりなので、2連勝しなければなりません。逆を言えば、相

手チームは2試合のうち、1試合でも勝てば全国大会への出場権獲得とあって、圧倒的に我がチームは不利。しかしながら、2試合ともに劇的な勝利をつかみ全国大会へ！

2年連続4回目の全国大会は5月11日（土）～12日（日）に大阪で行われました。1回戦は3リーグ総当り戦を行い、1位のリーグが準決勝に進むことができるのですが、残念ながら1勝1敗で1位になれず、準決勝には進めませんでした。負けてしまった試合も最終回までは1点リードしていたのですが、ミスもあり、惜敗でした。

今大会は我がリーグを除いて全て初出場のチームで、我がリーグは2年連続でしかも4回目とあって、他のリーグからも一目置かれる存在。バックネット裏の本部席にて他の連盟役員の皆様へ挨拶に行ったところ、多くの方から「落ち着いて采配を振るっているね」「保護者の応援や態度が素晴らしい」「他のリーグの手本」などと称賛されてしまいました。優勝したわけでもないのに、そんな評価をいただいているとは知りませんでした。

リトルリーグに携わり20年を超えましたが、常に他のリーグを手本に、理想を追い求めて運営してきたのですが、気が付けば「他のリーグの手本」とはビックリ！！

まだまだ、足りないところばかりであることは間違いないのですが、他のリーグから「手本」と言われてしまったので、これからは「手本」に恥じない、活動・行動・発言をし続け、そして結果も出さなければなりません。

早速、今週末に行われた総会での新しいチームの保護者の皆様による係決めの際に、

「他のリーグの手本」となっている現状を伝え、新チームにおいても継続していきましょう！と伝えたところ、保護者の皆様も笑顔でうなずいてくださいました。そして、係決めの方も押し付け合いなど一切なく、スムーズに決定し、理想的な総会となりました。

なんだか拍子抜けしてしまいましたが、こんな理想的なことが長く続けば良いですね。

一所懸命に運営してきたご褒美？ 油断大敵？！ 皆様ならどう解釈しますか？
イケメンコーチ

【6】 なつぞら

この春から、NHKの朝ドラを楽しみにしています。北海道十勝地方の開拓農家からストーリーが始まったので、興味津々で見始めました。晩成社という初期の開拓団から教わって牧畜を開始した柴田家、柴田家がつくったバターを使った和菓子屋 雪月（六花亭がモデルと思われる）。東京で世話になる川村屋（新宿中村屋がモデルと思われる）。劇団民芸だと思われる赤い星座。実話ではありませんが、

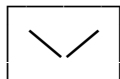
実在の人物や店を下敷きにしてストーリーが展開していくので、その時代・その場所の雰囲気を感じ取ることができます。

朝ドラのお陰で、六花亭のマルセイバターサンドのデザインが、他の商品と雰囲気が異なる理由が分かりました（分かった気になりました）。マルセイバターは晩成社の依田勉三が製造したバターの名前。バターサンドのデザインは、マルセイバターのラベルを再デザインしたものです。十勝地方で、様々な試みを行い、初期の開拓者にアドバイスをを行った依田勉三。商品そのものは小川軒のレーズンウィッチを参考に1977年に開発されたそうですが、十勝地方の出発点を確認する気持ちで、マルセイの名を残されたのでしょうか。ちなみに、大樹町（ホリエモンがロケットを飛ばす基地）に晩成温泉があります。

◆◇MBO(目標管理)実践支援センターの考え方

MBO(目標管理)実践支援センターはMBO(目標管理)を組織内で展開するためのノウハウを蓄積し、人事担当者に提供するためのセンターです。営利事業と非営利事業を組み合わせるこの機能をはたしていくつもりです。

<http://www.mbo-mcp.com/>



編集・発行／MBO(目標管理)実践支援センター

代表／中嶋哲夫 <http://www.mbo-mcp.com/>

事務局／(株)MC&P TEL:06-4706-3311

- 最後までお読みいただきましてありがとうございます。
このメールマガジンは、センターの講師陣が出会った方々に感謝の気持ちを込めて送らせていただいています。
もし、ご関心のない場合には、ご面倒ですが解除の手続きをお願い申し上げます。
- このメルマガを読んでもらいたいお知り合いを是非ご紹介ください。
- 投稿または配信停止を希望される場合は、
下記「お問い合わせフォーム」にて、
「MBO投稿」または「MBOメルマガ配信停止希望」とご記入の上、送信願います。
<https://secure.mcp.co.jp/contact.html>
- このメールアドレスは配信専用となっております。
返信いただいても対応はいたしかねますのでご了承ください。
ご連絡は下記のアドレスまでお願いいたします。
mbodoor@mbo.mcp.co.jp

※本メールの無断転載・複製を禁じます。